



<http://www.minamih.net/>
15・5・24(日)
南NEWS NO16

謹んで哀悼の意を表します

5月20日(水)午後、南の4期生 萩原誠司君のお父様
萩原一夫様 ご逝去 享年80歳

南のコーチを務められ、壮年・女子部監督も務めて、南の創立10周年までの活動に力を注いでくださり、その後も南を支えてくださった方です。

ご冥福をお祈りいたします。

○お通夜5月28日(木) 18:00 山田駅前八王子総合ホール

○告別式5月29日(金) 10:30 山田駅前八王子総合ホール

福井さんに続いて、南の大先達が先に逝ってしまいました。

寂しい限りです。あちらで富部さん・松田さん・佐藤先生・福井さん達と酒を酌み交わしているのかなと想ったりもします。感謝の気持ちも込めて、みなさんでお送りできればと思います。

南代表 矢上

決勝戦●南八王子1-5南大沢 前半0-4 得点者 鈴木Nさん

○テーマ 選手の考えためあて/優勝を目指す! ボールを持った時、パスばかりに頼らずに自分でやる、ドリブルでチャレンジする! コーチから1対1で負けない。前線から相手選手を追いかけプレッシャーをかける。鋭いアプローチで相手選手に寄せ、シュートを打たせない。サイドの裏のスペースをしっかりと注意する。

「タータタッ タータタッ タタターン♪」。人工芝のグラウンド、おなじみの入場時の音楽「FIFAアンセム」がかかり、入場門から対戦する両チームが整列して入ってきました。予選を3連勝で1位となり、決勝戦です!

相手の南大沢さんは同じ八王子市内のライバルチームですが、今年度に入って分が悪く苦戦をしています。しかし、自分たちのためあての優勝をするためには絶対に勝たなければならない戦いです。それには相手の絶対エースを抑えることがどうしても必要です。マンマークをつけ自由にプレーさせない作戦に出ました。

前半、決勝の緊張が見られます。今までの試合では粘り強く守ってきたディフェンスラインが乱れてしまいます。バタついてしまい、5分と早い時間に失点してしまいました。その後も押し込まれる時間が続きます。相手エースをマンマークによって抑える作戦も中々うまくいきません。エースの子がボールを持って後方から上がって来ると南の選手のマークを引き付け、フリーの味方選手に決定的なパスを出し、ボールを受けた選手が決める。そんなシーンが繰り返されて、前半は4点を失いました。南の攻撃は終了間際に鈴木さんがゴール前で横に仕掛けるドリブルで相手をおかわして、右サイドから上がった種子田さんにパス。シュートは枠を外れましたが、いい形を

作ったこの場面くらい位でした。

ハーフタイムでは後半は0対0のつもりでスタートしようと言いました。また、相手エースのマンマークはマンカーを小沢さんにして続けることにしました。小沢さんの負けず嫌いに大いに期待です。

後半6分、相手のエースに南の右サイドをえぐられ、強烈なシュートを決められてしまいます。しかし、このシーンでは南の攻撃のからみで小沢さんのマークが外れていました。それ以外では非常によくマークし、自由を与えず決定的な仕事をさせませんでした。簡単に抜かせない、抜かれてもすぐに奪いに行く。5年生の小沢さんが難しい大役をしっかりと、期待以上にこなしてくれました。するとチームも最後の力を振り絞り、1点を奪いに行く姿勢が出します。CBの加藤さんはボールを奪うとそのまま前線までドリブルで駆け上がりチャンスを広げようとしています。終了間際、ゴール前にロングボールを入れると、相手のミス誘いフリーキックを得ます。ゴール正面ペナルティーエリア少し手前の位置。キッカーは鈴木さん。相手は全員で壁を作りますが、その壁の上に強烈なシュートをたたきこみます! 1点を返しました。試合は終了となり1-5で敗れ優勝は逃しました。しかし一矢報い得点を奪えたこと、後半を1-1のスコアで戦えたことは、今後につなぐことのできる意味のある決勝戦であり、準優勝です!



総括

この日の大会はかなり暑い中で4試合を行い体力的には厳しかったと思いますが、よく4試合頑張りぬきました。少しずつ、でも確実に力をつけてきています。

自分たちで考えたためやすの「優勝する」はあと一歩でした。「パスばかりせず自分でやる、ドリブルをチャレンジする」はどうだったでしょう。試合ごとに自分でやる、ドリブルでチャレンジする場面が増えていったと思います。今後またチャレンジをしていくために、ドリブルの技術、ボールを受ける前の判断とボールを受ける際のコントロールを磨いていきましょう。

U12リーグの残り3戦、春季カップの準決勝へ弾みのつく大会となりました。7月5日の春季カップは今度こそ優勝を目指して頑張りましょう!

by加藤コーチ

